

令和元年第3回定例会一般質問 会議録（抜粋）

令和元年9月20日

6 様々な危機対応をより効果的に行う防災・防犯の庁内一元化について

○松本議員

～略～

最後に様々な危機対応をより効果的に行う防災・防犯組織の一元化についてですが、今年6月に発生した吹田市千里山での警察官襲撃事件において、事件発生時、吹田市含め近隣市では公共施設の行事の中止など、様々な対応が行われました。

そこで本市はどのような対策を取られたのかお聞かせください。以上です。

～略～

○嶋野議長

市民生活部長

○松方市民生活部長

～略～

「吹田市の警察官襲撃事件発生時における、本市の対応について」のご質問にお答えいたします。

6月16日早朝の事件発生後、午前8時28分摂津警察署から、防災行政無線を活用しての注意喚起の放送依頼が摂津市にございました。これを受けまして、9時30分の関係部長会議を設置し、10時18分に1回目の防災行政無線によります事件啓発放送を実施いたしました。

また、防災管財課には、吹田市危機管理室への対応、防災行政無線の運用等を、広報課には、市ホームページへの緊急情報の掲載、メディア対応等について担って頂きました。合わせて、消防本部から千里丘出張所がパトロールを実施し、千里丘・味舌消防分団にパトロールを要請して頂きました。

関係部長会議での具体的な対応といたしましては、引き続き消防分団へのパトロール要請、幼稚園、小学校及び中学校の保護者向けに安心・安全メールを活用した情報提供、公共施設の対応、クラブ活動及び学校開放の対応、青色防犯パトロールの出動、翌日以降の対応等について、協議し対応いたしました。

～略～

○嶋野議長

松本議員。

○松本議員

～略～

最後に防災・防犯の市内一元化についてですが、各種対策を取られた事は理解をいたしました。その上で吹田市や警察との情報共有、また市内の対応状況について、どのようなものであったのかお聞かせ下さい。

○嶋野議長

市民生活部長

○松方市民生活部長

吹田市との情報共有につきましては、事件発生当初は、吹田市危機管理室に対し防災管財課から連絡を取っていただいております。

また、摂津警察署との情報共有につきましては、逐一、自治振興課との情報の交換を行っております。

市内の対応状況につきましては、昨年の度重なる自然災害対応で得たノウハウを持つ防災管財課に協力をいただきながら、早い段階で関係部長会議を立ち上げ、広報課や教育委員会、消防本部等と連携し、スムーズに対応ができたと考えております。

○嶋野議長

松本議員。

○松本議員

状況については理解しました。

先月、摂津警察署長と話をさせて頂く機会がありましたが、今回のような大きな影響を及ぼす事件は今後も発生する可能性はどこにでもありえると述べられておりました。

よって、この時世を鑑み市全体の対応迅速化が一層求められますが、どうお考えかお聞かせ下さい。

○嶋野議長

市民生活部長

○松方市民生活部長

このたびの事件のように、市域を超えた事案が今後とも起こる可能性は否定できません。今後は、さらに北摂各市の防犯担当部局、摂津警察署とのコミュニケーションを深めて、対応の充実に努めて参りたいと考えております。

○嶋野議長

松本議員。

○松本議員

対応充実が必要と理解をいたしました。

ただ、今緊急事態の指揮対応を最も迅速に行える部署は、さきほど言われたようにノウハウがある総務部防災管財課であり、今後の充実化で防犯係を所管する市民生活部自治振興課に同様の能力を求めることは決して効率的とは言えず、検討が必要です。

また警察、他市との迅速な情報共有を行う仕組みも必要です。これには、日頃からのカウンターパートとの良好な関係が重要であります。付け加え、摂津警察署長が言われていたのが、適切なコミュニケーションと迅速な連携には各役職レベルで同等の法令等の知識を有することが必須というものであります。

あらためて今回、防災管財課が吹田市の危機管理室と連携を取ったとのことですが、なぜそうされたのかお聞かせ下さい。

○嶋野議長

総務部長。

○井口総務部長

吹田市警察官襲撃事件につきましては、吹田市危機管理室から本市防災管財課へ直通電話によります状況報告がございましたが、この流れは本市が指定をしたものではございません。

防災部門では常日頃から大阪府や近隣自治体を始め警察、自衛隊などの関係機関との連携強化を図っており、顔の見える関係を築いているところでございます。

吹田市危機管理室は、こうした関係を基に、防災管財課へ緊急情報を入れていただいたのではないかと推察いたしますが、本市の機構上、防災と防犯の所管が別であることを承知されてからは、自治振興課と情報連携がなされておったという状況でございます。

○嶋野議長

松本議員。

○松本議員

吹田市の危機管理室が防災・防犯を統括している事と、防災管財課が吹田市と常日頃の連携、信頼関係を築いているものということでの理解をいたしました。なお茨木市、高槻市も危機管理課・危機管理室が防災・防犯を所管しています。

今回の事案は適切に対応されたと評価致します。しかしながら、本市で起きた場合にはどうだったのでしょうか。部署間調整で生じる時間ロスは混乱を招きかねないものです。

今後、テロ等も含め様々な危機への迅速な庁内対応、警察や他市との円滑な連携には、今回の本教訓を踏まえ、危機対応の一本化、即ち防災・防犯部署の庁内一元化がまずもって必要ではないでしょうか。

今、地域防災計画が修正中のところ踏まえ、是非とも、検討することを要望致します。  
以上で質問を終わります。

令和元年9月21日作成